

財政力全国1位(田尻町は11位)の飛島村(愛知県)を視察



人口4,608人 世帯数1,473 (1・1現在)
村のほとんどが海拔ゼロ
日本でも有数の港湾流通拠点

村長は「命を大切に。絶対にゆずれない」

財政力日本一の愛知県飛島村を田尻町議会総務建設常任委員会メンバー(伊藤委員長、小川高木・仁部・東の各議員)で1月28日(火)に視察しました。終始同席していただいた村長は言いました。「命を大切に、働きやすい環境をつくることは、絶対に譲れない」医療費無料18歳まで、不妊治療費助成、児童養育奨励金10万円など豊か。他の事業は近隣の「平準化」を強調しています。村長は「ケチとも言われています」と。施設は立派、村外利用が多数ですが、すこやかセンター内には温水プールもあり、医療費が減ったと。住民の政治哲学が施策をささげ、財政力もいきるのだと確信しました。

「住民の政治哲学があつてこそ、財政力も生きる」と確信

今年度の「報告書」昨年8月21～27日実施
41名が参加 (男子16名女子25名)

中学2年生の希望者をカリフォルニアへ派遣

ホームステイさせる事業を23年間継続

飛島村長の久野時男氏は現在4期目、村職員時代、教育委員会に長く務め、切り開いてきたアメリカ・カリフォルニア州リオビタス市ほかへの、中学2年生を対象に希望者を募集して実施している1週間の海外派遣事業は24年目になっています。個人負担費用を除く全額が村負担です。

私は村長に「治安の悪いアメリカで心配はありませんか?」と質問しました。村長は、「アメリカの良いところも悪いところも、社会の現実を研修してもらつことに意味がある」といい、参加者には事前研修を行い、誓約書も提出してもらつているといいます。

「小川ゆうじの赤旗」の読者だよ

小川吉開 検索

田尻町支部党活動募金
1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時～正午
465-9939

2月の弁護士相談は
14日(金)
夕方6時～8時
事前予約が必要
(部内資料)

地震発生! 震度6強

研修会「防災と議員の役割」で学習しました
1月23・24日全国市町村国際文化研究所で

ハザードマップを眺めているだけでは身につかない!

家屋の倒壊・災害弱者の救出・火災発生・津波襲来: 地図の上に透明ビニールシートで想定した『災害情報』を重ねて訓練しよう

倒壊しやすい「昭和35年以前の家」「避難所」などにマーカーを記入。震度6強で6割が倒壊、その下に、犠牲者がでている。助け出すのに10人は必要、消防団、自主防災会はどう動く? そのうち火災が発生する。救助が先か? 消火が先か? やっていただんだん「もうやめてくれ!」という気になる。しかしこれが災害発生時の現実だ。ハザードマップをながめるだけでなく、机上で白地図を広げ、その地域の情報を記入「家屋の倒壊」「火災発生」「津波襲来」などと想定した情報を透明ビニールシートに記入し、それを地図上の重ねていき、救助人員の確保は? 避難所への道は大丈夫か? など議論をすすめていく:これが、災害時頭上訓練DIGです。

災害頭上訓練 DIG

付箋紙には「障害者」「1人暮らし老人」などと記入
線は、「水路」や「消防車が入れない路地」を記入
マーカーで倒壊しやすい「昭和35年以前の家」など記入